

はじめに

成田市教育委員会
教育長 関川 義雄

次期学習指導要領の完全実施に向け、本年度は小学校で「特別の教科 道徳」がスタートしました。道徳の授業では、これまで培ってきた指導技術の更なる質的向上を目指すとともに、道徳授業における児童生徒の学習状況や道徳性にかかる成長の様子を文章で記述する評価を実施することとしております。本市教育委員会では、本年度も道徳教育推進教師を対象にした研修のほか、各学校の要請に基づく研修や教員経験の浅い教員への指導主事・教職員相互実践研修等において、教職員個々の指導力向上を目指してまいります。一方で、教職員の多忙化が大きな社会問題となっている現在、次期小学校学習指導要領の完全実施の際には、授業時間の増加とともに、教材研究にかかる時間も増加し、教職員の時間外勤務の状況はますます深刻化するのではないかと懸念があります。そこで、本年度は各学校において、校務支援システムの効果的な運用を図り、事務の効率化を目指すとともに、市内全校にタイムレコーダーを設置し、教職員個々の勤務実態を客観的に把握することによって、一人一人がより効果的な業務運営を行っていただけるよう学校を支援してまいります。

このほか、ALTや学校図書館司書を全校に配置するほか、学校の実情に応じて、学校サポート教員や健康推進教員、特別支援教育支援員、教育相談員、養護補助員、日本語教育補助員等々、多くの市費負担教職員を配置し、個に応じた、きめ細かな指導が行えるよう教育環境の整備に努めるとともに、教育センターや教育支援センターの機能を生かし、困り感のある児童生徒への支援を続けてまいります。

また、年齢を問わず、生涯を通じて学びたいときに学べる教育環境の整備を目指し、本年度も明治大学・成田社会人大学や、成田市生涯大学院を開設いたしました。ここでは、学ぶ楽しさを感じ、学びを通して出会う人々との仲間づくり等も期待できる場であることから、今後も更なる発展を目指して取り組んでまいります。このほか、市内高等学校等のご協力を得て高等学校等開放講座を引き続き実施するとともに、関係団体との連携により、家庭教育や子育て支援に役立つ講座や講演会を開催したりするなど、多様な取り組みを行ってまいります。

さらに、図書館や公民館では、市民の皆様のニーズに応え、自主的な学びを支え、生活に潤いを与えられるよう、施設設備の充実を図るなど、利用者の立場に立った運営に努めてまいります。